

1. はじめに

本校において高等教育機関としてふさわしい質の高い教育を行うために、カリキュラムの見直しや設備の充実をはじめ、企画・教務部や各学部においてさまざまな改革や試みがなされてきた。それらが効果的にかつ実質的に実施され、成果を上げていくためには、各種制度の運用、そして IT を利用した教育支援システムの活用が不可欠である。しかし、本校において IT を利用した教育支援システムは教員を対象とした事務部門で一部利用されているが、教員と学生へのサービスを意図したシステムは残念ながら存在していないのが実情である。そこで教育の質の向上を目指した教育支援システム(教育支援情報をデジタル化したサービス)の構築を目指すテーマを研究テーマとし、本校における IT を利用した教育サービスの向上に寄与することを目的とした。

2. 機能

研究・分析の結果、このシステムでは以下の機能の搭載を決定した。

- シラバス
- Info
- お知らせ
- 資料
- レポート
- 授業計画
- 授業内容
- 関連リンク
- FAQ
- 成績照会

これらのデジタル化された情報を編集し、教員および学生に有益となる編集を提供する。教員側の機能としては、授業に関係する情報に限定して学生に閲覧できるようにすることを可能としている。

3. 研究へのアプローチ

この研究は計3名の共同研究とする。支援サービスの処理系をデータベース部、インターフェース部、

リレーション部の3部構成とし、共同研究者3名がそれぞれの処理系を担当することとした。私の担当はリレーション部を担当し、使用する開発言語はHTML、CGIとする。



4. 結果

本校における教育の質を高めるための支援情報を分析し、項目を挙げた。それらの項目から必要な機能を選定し、支援サービスの概要を示すことができた。

5. 今後の発展

今回の研究により、教育の質を高めるための支援サービスを洗い出すことができたので、そのサービスを実行するプログラムが開発され、本校のさらなる教育面の充実を支援するサービスが提供されることを期待する。

さらに、生徒・教員に対してどのような機能が必要かの検討も引き続き行われ、その機能が追加されることを望む。

参考文献

- [1] 伊藤 和人 著 “入門 Perl”